

小さい者の一人が減びることは天にいますあなたがたの父のみ心ではない。

つ の ぶ え



社会福祉法人

小羊学園

〒433-8105

静岡県浜松市北区三方原町 2709-12

電話：053-414-1833 FAX：053-438-7707

E-mail kohitsuji@imix.or.jp

H.P http://www.kohitsuji.or.jp/

発行人：稲松 義人

印刷所：聖隷サービス(有)

定 価：一部 30 円

2011年6月20日

第 338 号

知的障害児入所施設における

ユニットケアの実践

三方原スクエア児童部

山崎陽司

はじめに

小羊学園では、重度の知的障害児を支援する上で、少人数での生活空間で子どもたちが落ち着いて生活ができる環境を提供する必要性を強く感じ、2008年に老朽化した建物の移転新築を行うに当たり、5〜6人で生活できるユニットを作り、小規模な生活単位での支援に取り組み始めました。

子どもたちの生活の様子

一つのユニットには個室が6部屋(短期入所用含む)あり、リビングと食堂、キッチン、トイレ、洗面所、風呂場(ユニットバス)等が設置されています。

子どもたちは地域の特別支援学校に通学していて、朝は送迎バスに乗車するために7時ごろそれぞれのユニットから出かけます。朝食は小さなテーブルを囲み、調理室から運ばれてきたものを職員が一人一人の分をその場で配膳をします。寝坊して急いで支度をしてあわただしく通学していく姿は実に微笑ましい光景です。

学校が終わり帰園するとそれぞれが

自然にリビングに集まり、テレビを見たり絵本を見て遊んでいます。夕食を終えた後は一人ずつ入浴し、9時ころにはそれぞれの部屋に戻り就寝となります。学校や休みの日には隣のユニットと一緒にドライブや買い物に出かけるなどして過ごしています。

ユニットケアの必要性

近年、障害児施設に入所する子どもたちは、虐待(ネグレクト)等家庭における子育て能力の崩壊(弱さ)で入所となる場合が多く、大人から愛されて育つという子どもの権利保障がなされないままの環境において、愛着障害といわれる子どもたちが増加しています。家庭の養育が困難であり不適切な養育環境に置かれた子どもたちの生活を保障するためには、家庭的な落ち着いた雰囲気の間で、ある程度固定された職員との安心感のある人間関係の中で支援していくことが重要です。

また、発達障害や行動障害のある子どもたちにおいては、大勢の中で制限されることが多い環境より、個別化された環境の中で周りの人から影響を受けられることなく生活することによって、問題となる行動が顕著に減少しています。

このように少人数のユニットによる支援は、障害の多様化する子どもたちの将来にとって必要な施設の在り方なのであります。

おわりに

障害者権利条約にある「障害者に対する特別な生活様式の強制の禁止」については、入所施設の存在そのものを否定するようにとらえられることもありますが、家庭の養育が困難であり不適切な養育環境に置かれた子どもたちの生活を保障するためには、誰かが親代わりを行う必要があります。

入所施設は「最後の砦」と言われます。その意味の一つには、親子分離をして子どもの命を守る役割があるからだと思えます。しかしながら、子どもが親と離れて暮らすことがその子どもにとって本当に良いことなのかは慎重に判断すべきではないでしょうか。できる限り「親」(あるいはそれに代わる人)と生活することを検討すべきであると思えます。その中で、最終的な場として入所施設が必要なのであれば、その役割を担うべきなのです。したがって、入所施設の有無は否定されるものではありません。ただ、そこで行われている支援が非人道的、反社会的であつたりすることがあるので問題となつていくのです。

障害のある子どもたちが健全に育成される環境の中で成長し、将来の自立に繋いでいける支援を障害児施設は目指さなければなりません。



**社会福祉法人小羊学園
2010(平成22年度)事業報告**

理事長 稲松 義人

2010年度を振り返り、心から感謝をもって事業報告をしたい。

東日本大震災は、世界中に大きな波紋を投げかけた。これを受けて、国庫の補助を受けて支援センターわかきの改築する計画の浜松市への提出を、年度末になって一時的に見送ることにした。わかきの今後は、私たちに求められる事業のあり方について議論を深めつつあらためて計画を提出したい。

日中活動支援、地域での生活支援推進の計画(オリブの樹の増改築、カトリアの新築移転工事、温心寮の移転改築工事)は、中長期計画に沿って予定どおり取り組むことができた。

また、法人として計画的に事業を推進していくために、財務管理、人事管理に関して、法人本部の調整機能を高められるよう検討した。また、かねてより課題になっていた給与体系の見直しを行ない、将来へ向けて大きな枠組みを示すことができた。

幹部職員の交代を見据えつつ、法人としての計画的に経営体制を継承できるように幹部職員の人事について協議を重ねた。浜松地区の三方原、浜北、浜松中南の3つのエリアと静岡地区、

4つのエリアごとに財務・人事等の管理を担える体制を考えること、併せて浜松地区では、生活支援(施設入所・ケアホーム)日中活動支援、児童家庭支援の3つの事業分野ごとに協議機関を設け、事業展開や職員の育成等については、エリアを超えて連携して取り組んでいけるように組織を整えることとし、中心となる職員について協議した。2010年度には具体化できなかった児童家庭支援についての連携についても、新年度には具体的な取り組みをはじめていきたい。

一方、これまで小羊学園の事業展開を物心両面から支えてきた「小羊学園を支える会」の寄付金収入は減少傾向が顕著になった。施設整備するとか、施設で日常に困難があるなど、目に見える課題があるときにはアピールしやすいが、新しい事業展開についてなど、理念的な主張が中心になってしまったのではないか。また、古くからの支援者の皆さまがご高齢になってきていることも大きな原因と感じている。

この一年は、事業の新しいあり方を模索するなかで、各施設の研修や、三方原で開催した日本キリスト教社会事業同盟の研修会でも、創立者山浦俊治氏の言葉から理念について学ぶ機会をもてた。人として生きるこの意味を問い、その意味を人との関係の中に見出そうとする実践の理念をまとめていきたいと感じている。

1. 財産目録

資産・負債の内訳		単位: (円)
I 資産の部		
1 流動資産	654,579,324	
現金預金	295,078,780	
未収金	302,960,703	
貯蔵品	840,884	
立替金	20,837,014	
前払金	7,861,943	
短期貸付金	27,000,000	
流動資産合計	654,579,324	
2 固定資産	3,777,352,148	
(1) 基本財産	3,333,601,485	
建物	2,201,647,433	
土地	1,131,954,052	
基本財産合計	3,333,601,485	
(2) その他の固定資産	443,750,663	
建物	85,742,849	
構築物	11,977,037	
車両運搬具	16,565,960	
器具および備品	43,175,131	
土地	24,204,329	
施設・設備等積立預金	240,042,000	
退職共済預け金	20,165,157	
ソフトウェア	753,200	
敷金・保証金等預け金	1,125,000	
その他の固定資産合計	443,750,663	
資産合計	4,431,931,472	
II 負債の部		
1 流動負債	132,418,498	
短期運営資金借入金	27,000,000	
未払金	94,878,163	
預り金	3,208,375	
前受金	7,331,960	
流動負債合計	132,418,498	
2 固定負債	1,260,615,157	
長期設備資金借入金	1,240,450,000	
退職給与引当金	20,165,157	
固定負債合計	1,260,615,157	
負債合計	1,393,033,655	
差引純資産	3,038,897,817	

法人事業所等の2010年度 利用状況一覧

事業所及び事業単位		利用定員	利用者平均	利用実績
入所部門	児童部	20	20	—
	児童部 日中一時支援	—	—	4123時間
	児童部 短期入所	10	—	2389日
	成人部 入所	30	29	—
	成人部 日中活動	40	47.5	—
	成人部 日中一時支援	—	—	2572時間
	(旧)入所更生施設	50	44.1	—
	成人 短期入所	4	—	957日
	成人 日中一時支援	—	—	3441時間
	重症心身障害児施設	60	61.9	—
通所部門	短期入所	10	—	2863日
	わたぐも (通園事業A型)	15	14.4	—
	小羊デイケアホーム (生活介護)	20	17.7	—
	マルカート (生活介護)	20	17.2	—
	ドルチェ (児童デイサービス)	10	7.7	—
	ドルチェ (日中一時支援)	—	—	2493人
	オリブの樹 (生活介護)	27	23.1	—
	わかかな (日中一時支援)	5	6.4	—
	ばびるす (児童デイサービス)	10	11.2	—
	ばびるす (日中一時支援)	15	—	10498時間
地域生活部門	温心寮 (ケアホーム)	6	6	—
	ひだまり (ケアホーム)	6	6	—
	あゆみホーム (ケアホーム)	5	5	—
	ひまわり (ケアホーム)	5	5	—
	カトリア (ケアホーム)	4	4	—

2. 貸借対照表

勘定科目	当年度末	前年度末	増減	勘定科目	当年度末	前年度末	増減
流動資産	654,579,324	568,966,492	85,612,832	流動負債	132,418,498	83,867,334	48,551,164
現金預金	295,078,780	246,466,250	48,612,530	短期運営資金借入金	27,000,000	27,000,000	0
未収金	302,960,703	282,122,462	20,838,241	未払金	94,878,163	47,620,953	47,257,210
貯蔵品	840,884	647,980	192,904	預り金	3,208,375	2,552,221	656,154
立替金	20,837,014	5,005,026	15,831,988	前受金	7,331,960	6,694,160	637,800
前払金	7,861,943	7,724,774	137,169	固定負債	1,260,615,157	1,275,171,286	-14,556,129
短期貸付金	27,000,000	27,000,000	0	長期設備資金借入金	1,240,450,000	1,253,220,453	-12,770,453
固定資産	3,777,352,148	3,802,940,045	-25,587,897	長期設備資金借入金	1,240,450,000	1,253,220,453	-12,770,453
基本財産	3,333,601,485	3,444,854,583	-111,253,098	長期運営資金借入金	0	4,306,000	-4,306,000
建物	2,201,647,433	2,312,900,531	-111,253,098	退職給与引当金	20,165,157	17,644,833	2,520,324
土地	1,131,954,052	1,131,954,052	0	負債の部合計	1,393,033,655	1,359,038,620	33,995,035
その他の固定資産	443,750,663	358,085,462	85,665,201				
建物	85,742,849	15,374,864	70,367,985	基本金	166,442,534	166,442,534	0
構築物	11,977,037	8,411,297	3,565,740	基本金	166,442,534	166,442,534	0
機械及び装置	0	53,183	-53,183	国庫補助金等特別積立金	1,246,578,132	1,310,483,323	-63,905,191
車両運搬具	16,565,960	20,626,389	-4,060,429	国庫補助金等特別積立金	1,246,578,132	1,310,483,323	-63,905,191
器具及び備品	43,175,131	53,160,245	-9,985,114	その他の積立金	240,042,000	232,000,000	8,042,000
土地	24,204,329	8,613,876	15,590,453	その他の積立金	240,042,000	232,000,000	8,042,000
施設・設備等積立預金	240,042,000	232,000,000	8,042,000	次期繰越活動収支差額	1,385,835,151	1,303,942,060	81,893,091
退職共済預け金	20,165,157	17,644,833	2,520,324	次期繰越活動収支差額	1,385,835,151	1,303,942,060	81,893,091
ソフトウェア	753,200	1,300,775	-547,575	(うち当期活動収支差額)	89,935,091	339,575,015	-249,639,924
敷金・保証金等預け金	1,125,000	900,000	225,000	純資産の部合計	3,038,897,817	3,012,867,917	26,029,900
資産の部合計	4,431,931,472	4,371,906,537	60,024,935	負債及び純資産の部合計	4,431,931,472	4,371,906,537	60,024,935

4. 事業活動収支計算書 (一般会計)

勘定科目	本年度決算	前年度決算	増減
自立支援費等収入	1,034,510,049	994,271,789	40,238,260
利用料収入	2,584,100	2,576,257	7,843
措置費収入	31,076,530	27,356,124	3,720,406
保険診療収入	492,481,653	490,164,034	2,317,619
補助事業等収入	109,087,567	89,519,745	19,567,822
経常経費補助金収入	41,922,180	40,411,930	1,510,250
寄附金収入	16,715,933	19,539,770	-2,823,837
雑収入	23,160,785	21,932,301	1,228,484
借入金元金償還補助金収入	21,550,000	18,000,000	3,550,000
引当金戻入収入	938,400	1,496,465	-558,065
国庫補助金等特別積立金取崩額	72,428,775	122,652,057	-50,223,282
事業活動収入計(1)	1,846,455,972	1,827,920,472	18,535,500
人件費支出	1,230,278,909	1,129,789,889	100,489,020
事務費支出	150,177,039	144,646,724	5,530,315
事業費支出	234,140,861	224,472,144	9,668,717
減価償却費	139,616,199	140,052,666	-436,467
引当金繰入	3,458,724	3,060,960	397,764
事業活動支出計(2)	1,757,671,732	1,642,022,383	115,649,349
事業活動収支差額(3)=(1)-(2)	88,784,240	185,898,089	-97,113,849
借入金利息補助金収入	4,777,120	5,053,126	-276,006
受取利息配当金収入	324,072	67,565	256,507
経理区分間繰入金収入	224,534,182	225,235,585	-701,403
事業活動外収入計(4)	229,635,374	230,356,276	-720,902
借入金利息支出	7,264,872	7,987,262	-722,390
経理区分間繰入金支出	224,534,182	225,235,585	-701,403
雑損失	366,400	276,184	90,216
事業活動外支出計(5)	232,165,454	233,499,031	-1,333,577
事業活動外収支差額(6)=(4)-(5)	-2,530,080	-3,142,755	612,675
経常収支差額(7)=(3)+(6)	86,254,160	182,755,334	-96,501,174
施設整備等補助金収入	11,313,000	3,342,000	7,971,000
施設整備等寄附金収入	2,228,000	0	2,228,000
固定資産売却益(売却収入)	0	296,663,886	-296,663,886
その他の特別収入	132,924	121,560	11,364
特別収入計(8)	13,673,924	300,127,446	-286,453,522
国庫補助金等特別積立金積立額	8,523,584	3,342,000	5,181,584
固定資産売却損・処分損(売却原価)	128,503	85,791,765	-85,663,262
その他の特別損失	1,340,906	54,174,000	-52,833,094
特別支出計(9)	9,992,993	143,307,765	-133,314,772
特別収支差額(10)=(8)-(9)	3,680,931	156,819,681	-153,138,750
当期活動収支差額(11)=(7)+(10)	89,935,091	339,575,015	-249,639,924
前期繰越活動収支差額(12)	1,303,942,060	1,160,867,045	143,075,015
当期末繰越活動収支差額(13)=(11)+(12)	1,393,877,151	1,500,442,060	-106,564,909
基本金取崩額(14)	0	0	0
基本金組入額(15)	0	0	0
その他の積立金取崩額(16)	70,000,000	0	70,000,000
その他の積立金積立額(17)	78,042,000	196,500,000	-118,458,000
次期繰越活動収支差額(18)=(13)+(14)-(15)+(16)-(17)	1,385,835,151	1,303,942,060	81,893,091

3. 資金収支計算書

勘定科目	予算	決算	差異
自立支援費等収入	1,038,167,000	1,034,510,049	3,656,951
利用料収入	2,602,000	2,584,100	17,900
措置費収入	27,110,000	31,076,530	-3,966,530
保険診療収入	494,970,000	492,481,653	2,488,347
補助事業等収入	108,285,000	109,087,567	-802,567
経常経費補助金収入	41,798,000	41,922,180	-124,180
寄附金収入	14,303,000	16,715,933	-2,412,933
雑収入	22,796,000	23,160,785	-364,785
借入金利息補助金収入	4,777,000	4,777,120	-120
受取利息配当金収入	289,000	324,072	-35,072
経理区分間繰入金収入	224,537,000	224,534,182	2,818
経常収入計(1)	1,979,634,000	1,981,174,171	-1,540,171
人件費支出	1,241,029,000	1,230,278,909	10,750,091
事務費支出	156,387,000	150,177,039	6,209,961
事業費支出	237,517,000	234,140,861	3,376,139
借入金利息支出	7,268,000	7,264,872	3,128
経理区分間繰入金支出	224,537,000	224,534,182	2,818
経常支出計(2)	1,866,738,000	1,846,395,863	20,342,137
経常活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	112,896,000	134,778,308	-21,882,308
施設整備等補助金収入	11,143,000	11,313,000	-170,000
施設整備等寄附金収入計(4)	11,143,000	11,313,000	-170,000
固定資産取得支出	102,372,000	101,366,481	1,005,519
施設整備等支出計(5)	102,372,000	101,366,481	1,005,519
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	-91,229,000	-90,053,481	-1,175,519
借入金収入	40,000,000	40,000,000	0
借入金元金償還補助金収入	21,550,000	21,550,000	0
積立預金取崩収入	72,000,000	72,000,000	0
その他の収入	585,000	675,600	-90,600
財務収入計(7)	134,135,000	134,225,600	-90,600
借入金元金償還金支出	57,078,000	57,076,453	1,547
積立預金積立支出	80,042,000	80,042,000	0
その他の支出	5,340,000	4,770,306	569,694
財務支出計(8)	142,460,000	141,888,759	571,241
財務活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	-8,325,000	-7,663,159	-661,841
予備費(10)	8,944,980	0	8,944,980
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	4,397,020	37,061,668	-32,664,648
前期末支払資金残高(12)	485,099,158	485,099,158	0
当期末支払資金残高(11)+(12)	489,496,178	522,160,826	-32,664,648

ケアマネジメントの手法を学ぶ

5月30日、法人主任・中堅者研修をつばさ静岡で行ないました。当初は今年1月に実施する計画でしたが、浜松では稀に見る大雪の影響で延期となり今回の開催となりました。

研修では、「ケアマネジメントの手法を用いた入所施設利用者の支援」をテーマとしました。はじめに、ケアマネジメントの基本について雨宮アグネス所長が講義し、その後3つのグループに分かれてケアマネジメントの手法を学びました。各グループで普段自分たちが支援している利用者を事例に挙げて、ご本人のニーズを探るところからグループワークで検討しました。

本来、ケアマネジメントは在宅生活を送られている方を対象とした手法です。入所施設利用者は、入所施設そのものが社会資源であり、入所施設で生活を完結することが従来の発想でしたし、制度的にも居宅介護や移動支援等のサービス利用はできません。しかし、入所施設で生活しながらも、そこで暮らす人たちの生活の幅や豊かさを基軸に考えると、インフォーマルな社会資源開拓や、周りで支える支援者の発想転換次第で、施設で生活している人の可能性が広がっていくことが期待できます。それらの意識を持ちながら、日常の利用者支援につながっていくことを期待しています。

まもなく完成

2月に着工が始まった、ケアホーム温心寮の移転新築工事がほぼ完成を迎えます。東日本大震災の影響で部材の供給が遅れるのではと心配していましたが、予定通り7月中旬には工事請負業者のアキュラホームから引渡しを受け、8月初旬に引越してできる予定です。

これから8月にかけて利用者も職員も引越し作業に追われる忙しい日々が続きそうですが、新しいピカピカの家の完成が待ち遠しい毎日です。



温心寮

平成 24 年 4 月採用 社会福祉法人 小羊学園
直接処遇職員 募集要項

1. 募集施設 三方原スクエア・支援センターわかぎ つばさ静岡
2. 募集人員 法人全体で 10 名程度
3. 待遇 給与・休暇・福利厚生等は法人HPでご確認下さい
4. 応募資格 介護福祉士・保育士・社会福祉士等の資格保持者（取得見込者）希望だが、無資格でも可
5. 募集締切 平成 23 年 7 月 15 日
6. 提出書類 履歴書・自己紹介書（様式指定）、卒業（見込み）証明書、成績証明書・資格取得（見込み）証明書、所定様式による短文
7. 採用手順 一次試験（施設実習）
レポート作成も含め 3 日連続 20 時間以上
最終試験（筆記・面接）
9 月 3 日（浜松会場） 9 月 4 日（静岡会場）
8. 内定 23 年 9 月中旬頃
9. 問合せ 法人本部事務局 担当 池谷
TEL 053-584-3337
E-mail h-kohitsuji@ai.tnc.ne.jp
HP http://www.kohitsuji.or.jp

編集後記

この時期は個人的には一年で一番苦しい時期である。汗っかきな私は、何するわけでもなく汗がジトジトして不快指数が増していく。早くカラッとしたい夏がやって来ないかと願わずにはいられない。新人職員はこの時期をどう迎えているのだろうか。就職して3ヶ月近くが経過し、各々自分の仕事に慣れてきた頃だろうが、自身の福祉観と現場の仕事ぶりに戸惑っていないか気になる。これからの障がい福祉の大きな担い手となる新人職員が法人の理念を継承しつつ、自由な発想の中で障がいのある人の暮らしを支えていってもらえるよう祈りたい。

まもなく暑い夏を迎えます。お身体ご自愛下さい。

小羊学園を支える会

2011年度寄付金報告

5月受付分	184,900円 (17件)
累計	497,650円 (41件)

小羊学園への寄付金振込み先

(口座名義)「小羊学園を支える会」
郵便振替口座 00890-4-45415
りそな銀行浜松支店 (普通) 040005
静岡銀行細江支店 (普通) 043483
ご希望があれば、郵便振替用紙をお送りいたします。
下記へご連絡ください。
小羊学園を支える会事務局 (鈴木)
三方原スクエア内 ☎053-414-1833